

## 第75回防災アカデミーを開催

第75回防災アカデミーが、12月2日(金)、環境総合館レクチャーホールにおいて開催されました。

今回は、中林一樹明治大学政治経済学研究科特任教授により、「二元復興の国土づくり～東日本の災害復興から西日本・首都圏の事前復興へ～」と題した講演が行われ、一般市民など約100名が参加しました。



講演する中林特任教授

講演ではまず、この15年余りの間に我が国で発生し震度7を記録した地震である阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災の教訓をわかりやすく説明し、次に、現在想定されている東京湾北部直下地震や、東海地震、東南海地震、南海地震が起こった場合に受けるであろう被害を解説しました。その上で、東日本大震災の迅速な復旧及び復興を進めるとともに、東海・西日本や首都圏で地震被害を繰り返さないために、長期的な視野に立った地域構造・国土構造づくりを進める「二元復興の国土づくり」という考え方を示しました。

さらに、東日本大震災をはるかに超える被害が見積もられている首都直下地震や東海・東南海・南海連動型地震を想定し、その被害を可能な限り減らすために、地震による直接被害の軽減、その後の被害拡大の抑制、間接被害の軽減などを総合的に進める「事前復興」という発想を提示し、東京における取り組みを紹介しました。また、都市全体で震災に強いランドデザインを策定した上で、地区ごとの復興計画を作り、さらに防災訓練などソフト面の対策も併せて進めるといった事前復興の枠組みをわかりやすく解説しました。